

# 2018年度(2019年3月期) 第2四半期決算説明会

2018年10月30日

株式会社アドバンテスト

---

# アジェンダ

## ■ 2018年度第2四半期決算報告

常務執行役員 藤田 敦司

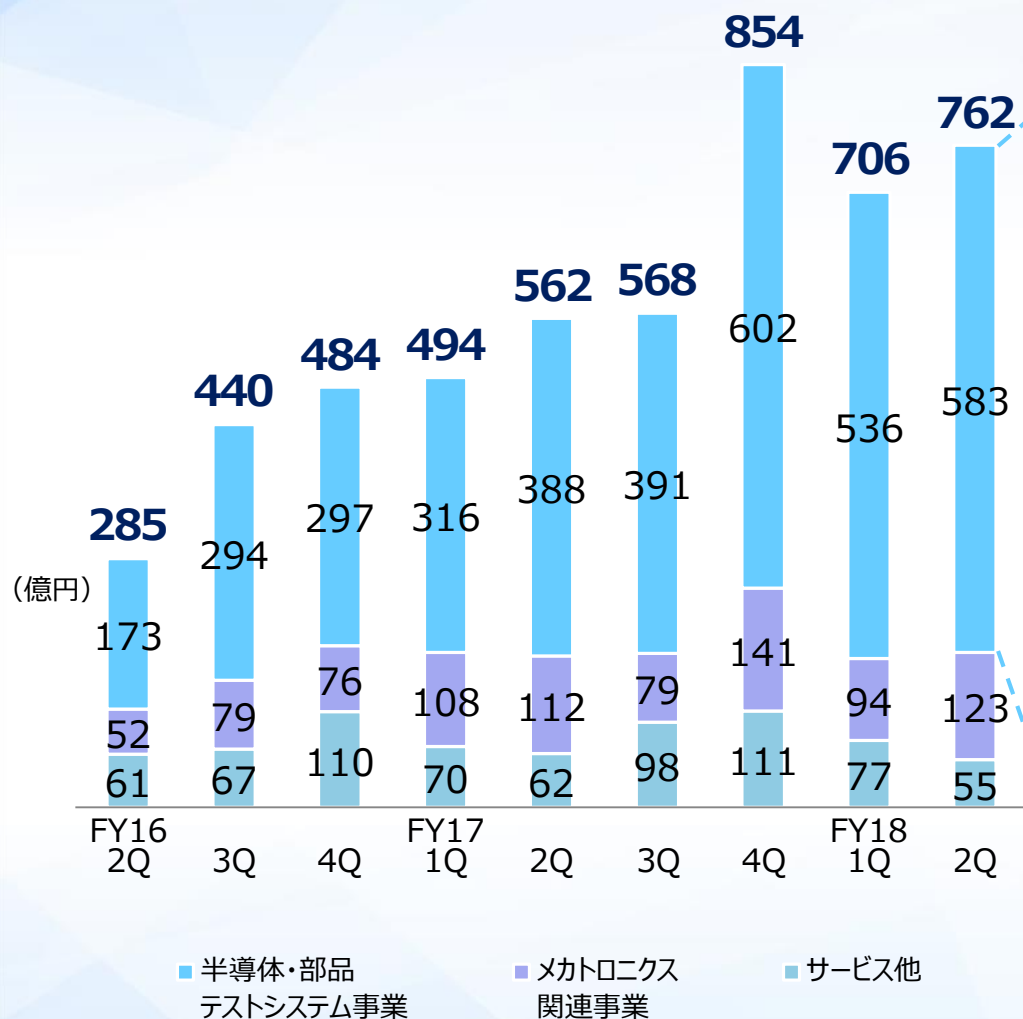
## ■ 2018年度 事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

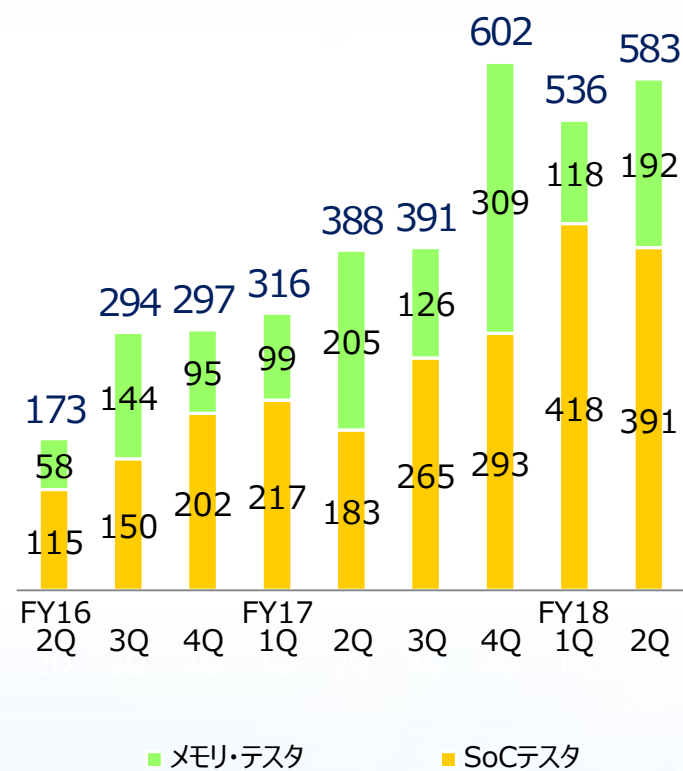
# 四半期業績推移

(億円)										
	FY17				FY18		前期比		前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増加額	増加率	増加額	増加率
受注高	494	562	568	854	706	762	55	7.8%	199	35.5%
売上高	407	477	509	679	709	727	17	2.4%	249	52.2%
売上総利益	206	249	232	379	382	389	7	1.9%	140	56.4%
売上総利益率	50.6%	52.1%	45.8%	55.7%	53.9%	53.6%	▲0.3pts		1.5pts	
営業利益	22	52	32	139	158	180	21	13.4%	128	3.5倍
営業利益率	5.5%	10.9%	6.4%	20.4%	22.3%	24.7%	2.4pts		13.8pts	
税引前四半期利益	16	48	34	145	165	186	20	12.2%	138	3.9倍
四半期利益	10	39	26	106	139	162	24	17.0%	123	4.1倍
四半期利益率	2.4%	8.2%	5.0%	15.6%	19.6%	22.4%	2.8pts		14.2pts	
IFRS第15号適用に伴う 期首受注残の調整					▲30					
受注残	509	594	653	828	795	830	35	4.4%	236	39.7%
為替レート	1米ドル	112円	111円	112円	111円	108円	111円	3円 円安		0円 円高
	1ユーロ	121円	128円	132円	134円	131円	129円	2円 円高		1円 円安

# 四半期受注高 事業セグメント別



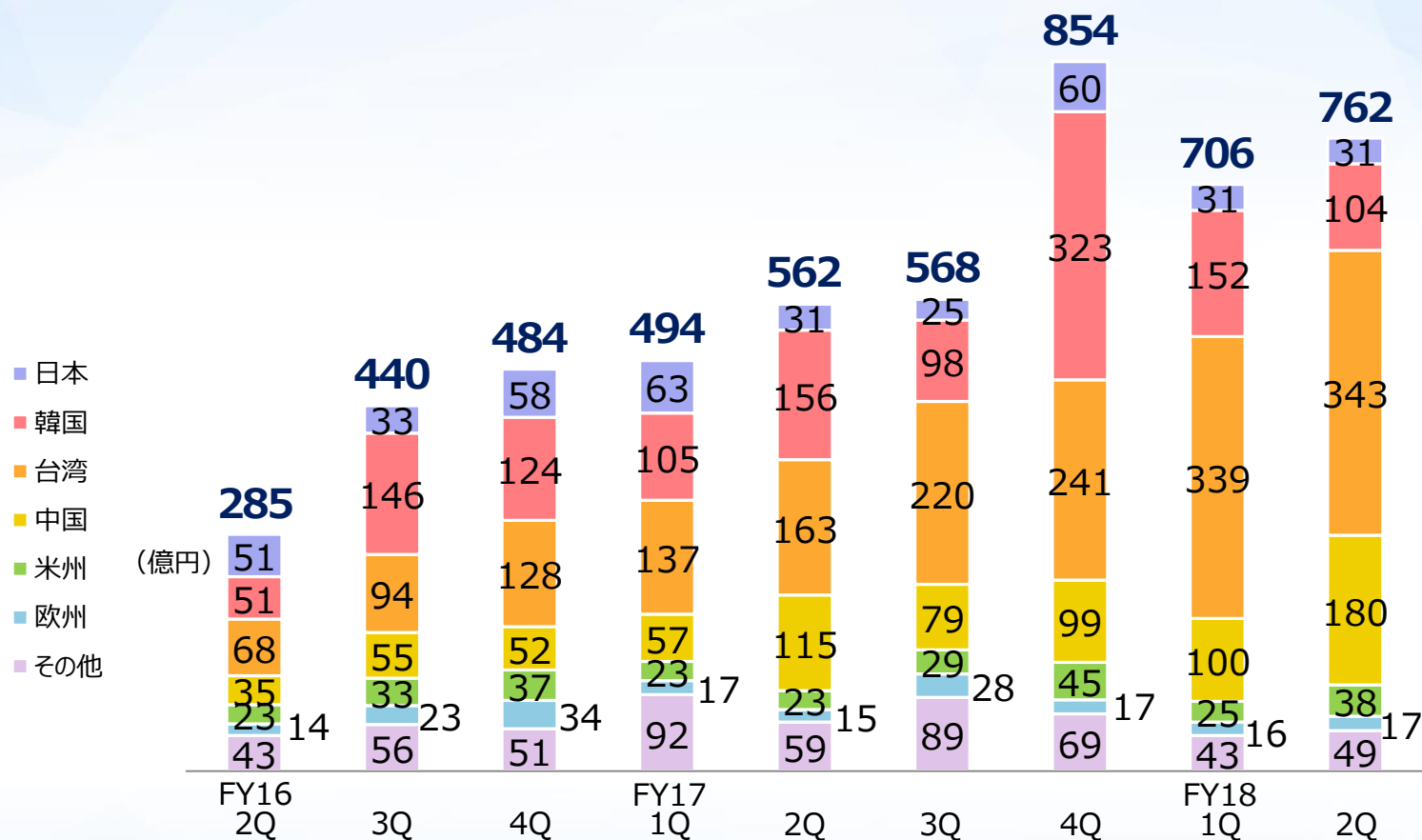
【半導体・部品テストシステム内訳】



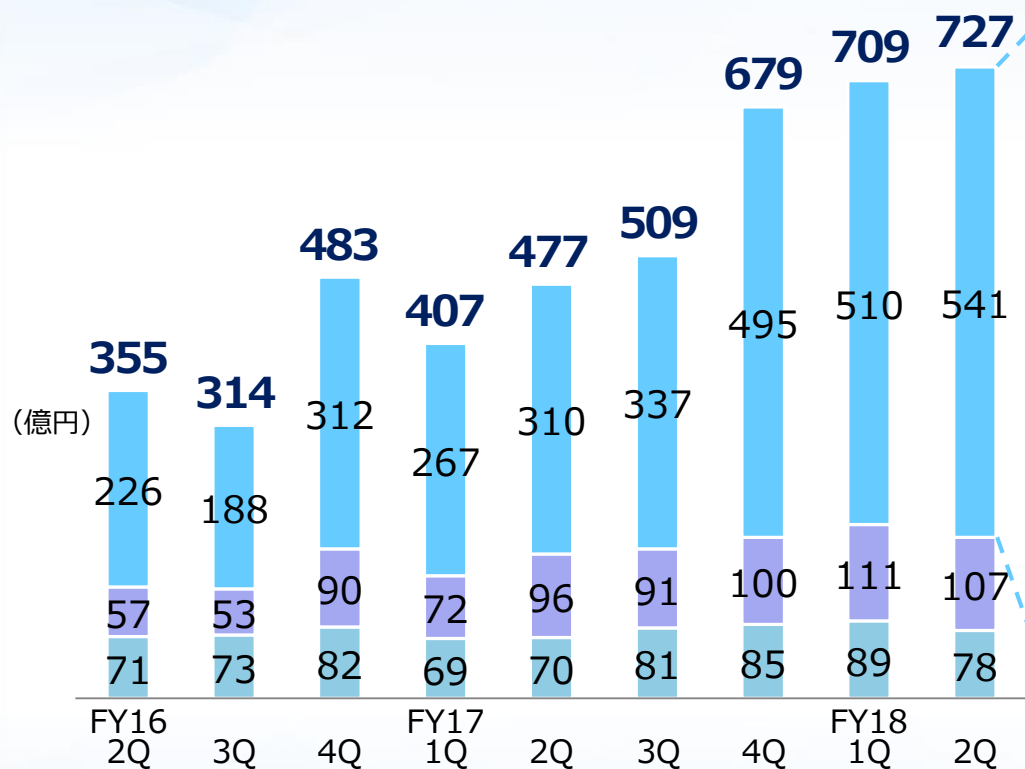
\*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

**ADVANTEST**

# 四半期受注高 地域(出荷先)別

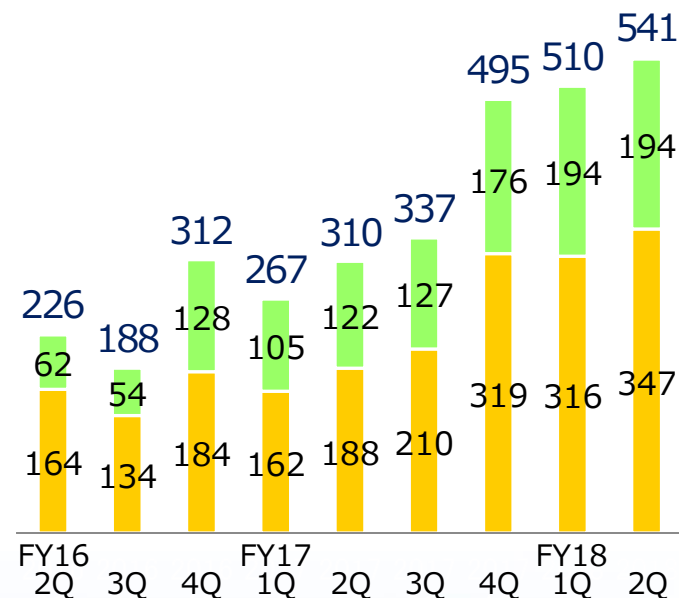


# 四半期売上高 事業セグメント別



■ 半導体・部品  
テストシステム事業   ■ メカトロニクス  
関連事業   ■ サービス他

【半導体・部品テストシステム内訳】

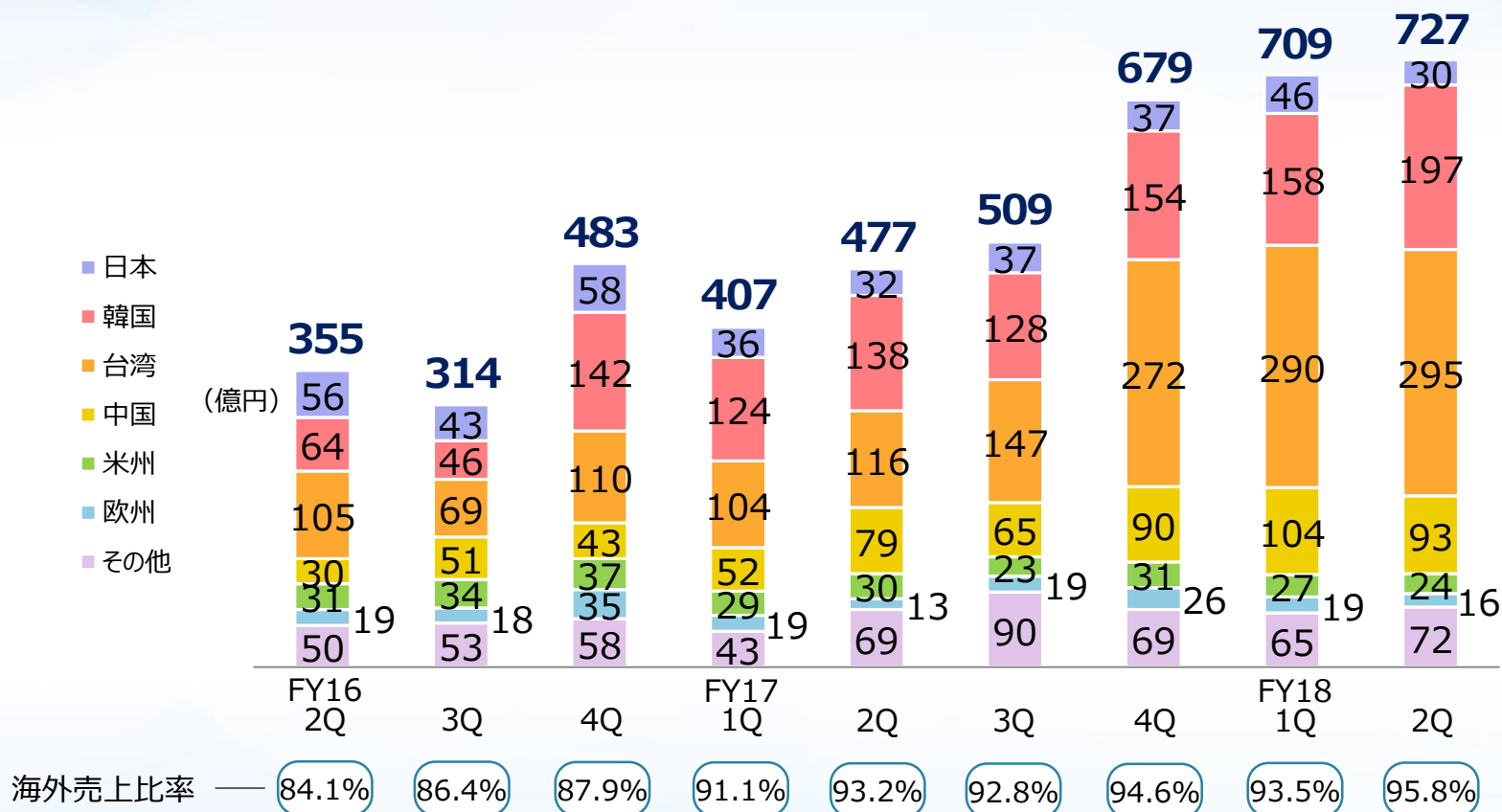


■ メモリ・テスト   ■ SoCテスト

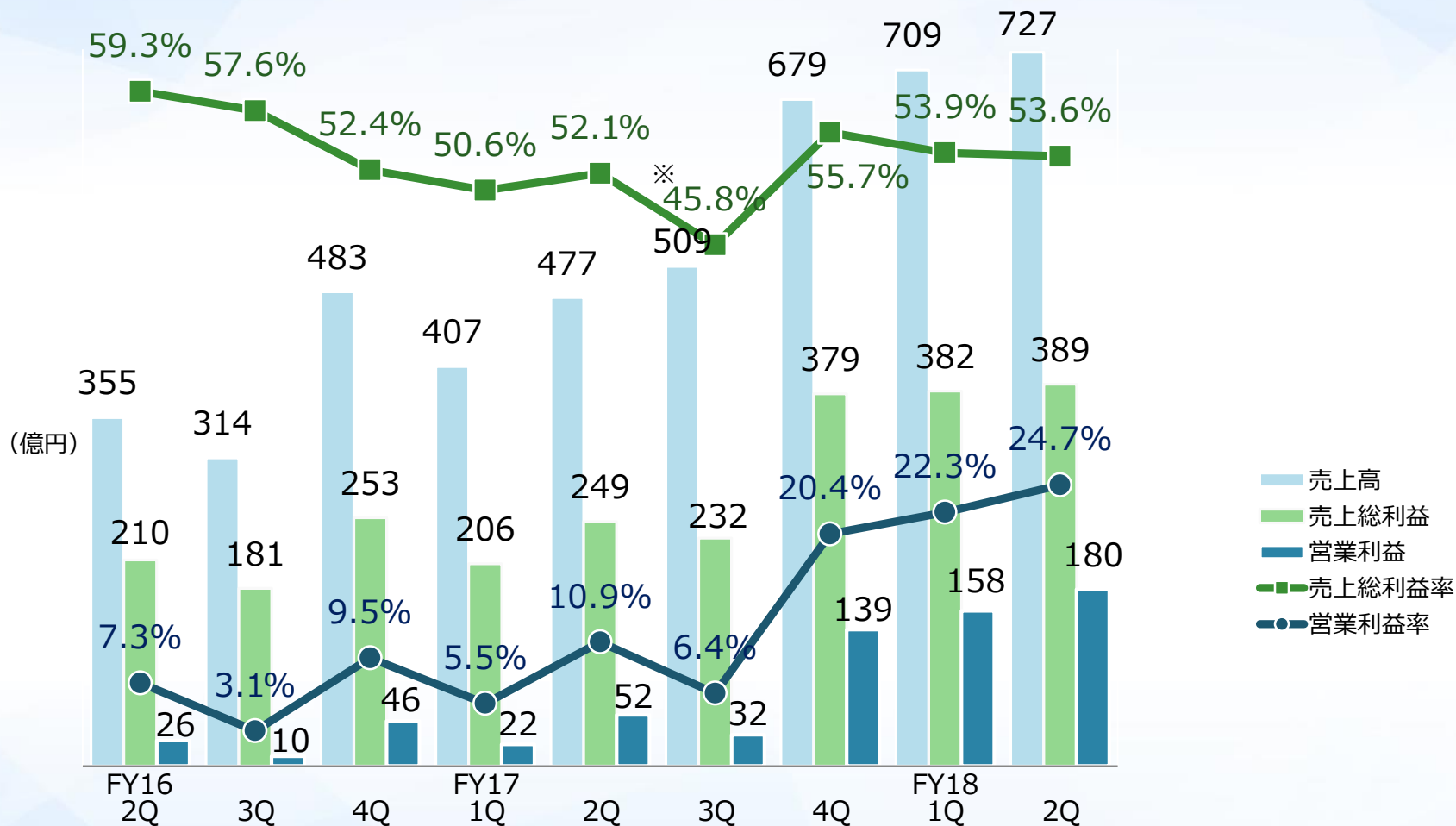
\*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

**ADVANTEST**

# 四半期売上高 地域(出荷先)別



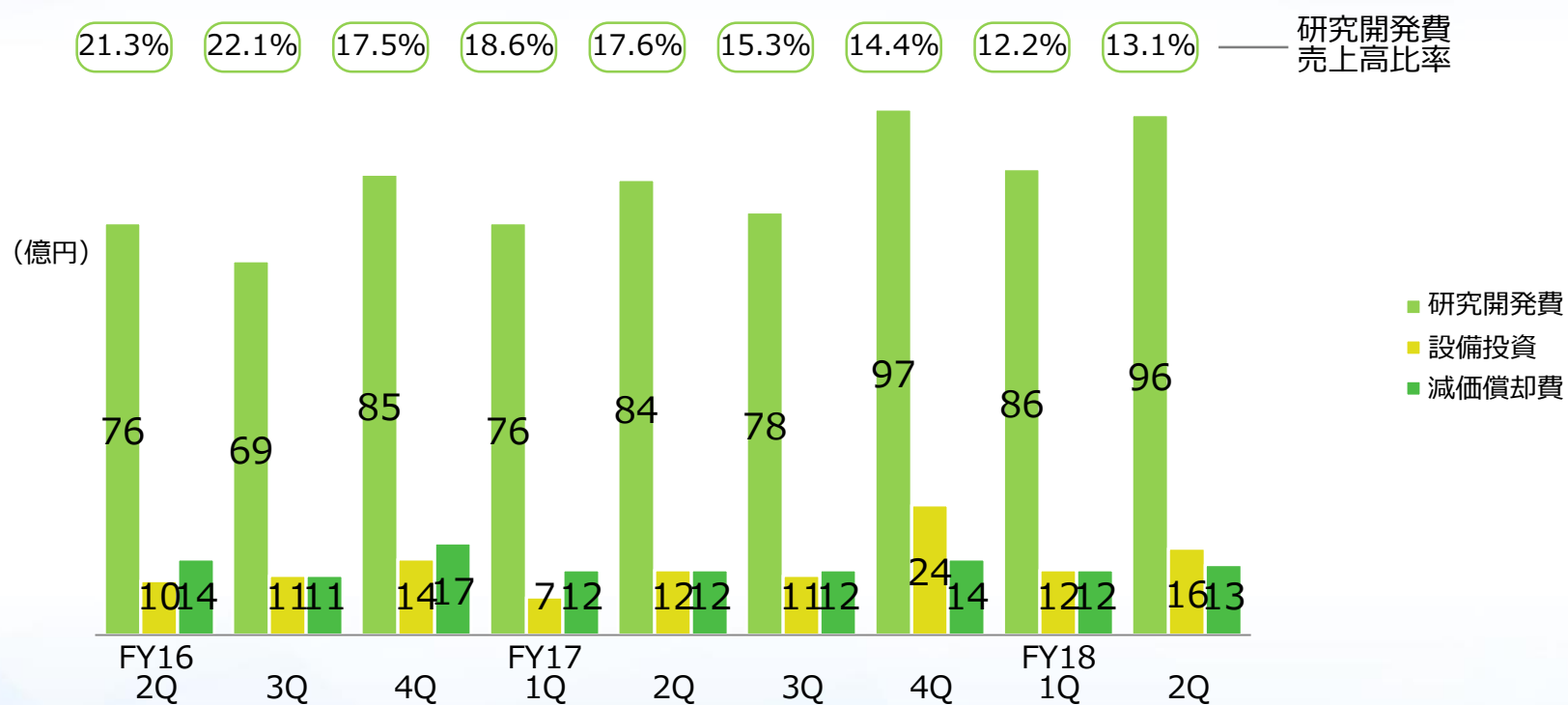
# 売上高/売上総利益/営業利益



※FY17 3Qにナノテクノロジー事業の棚卸資産評価損(33億円)を計上しています。  
この評価損影響を除いたFY17 3Qの売上総利益率は、52.3%となります。

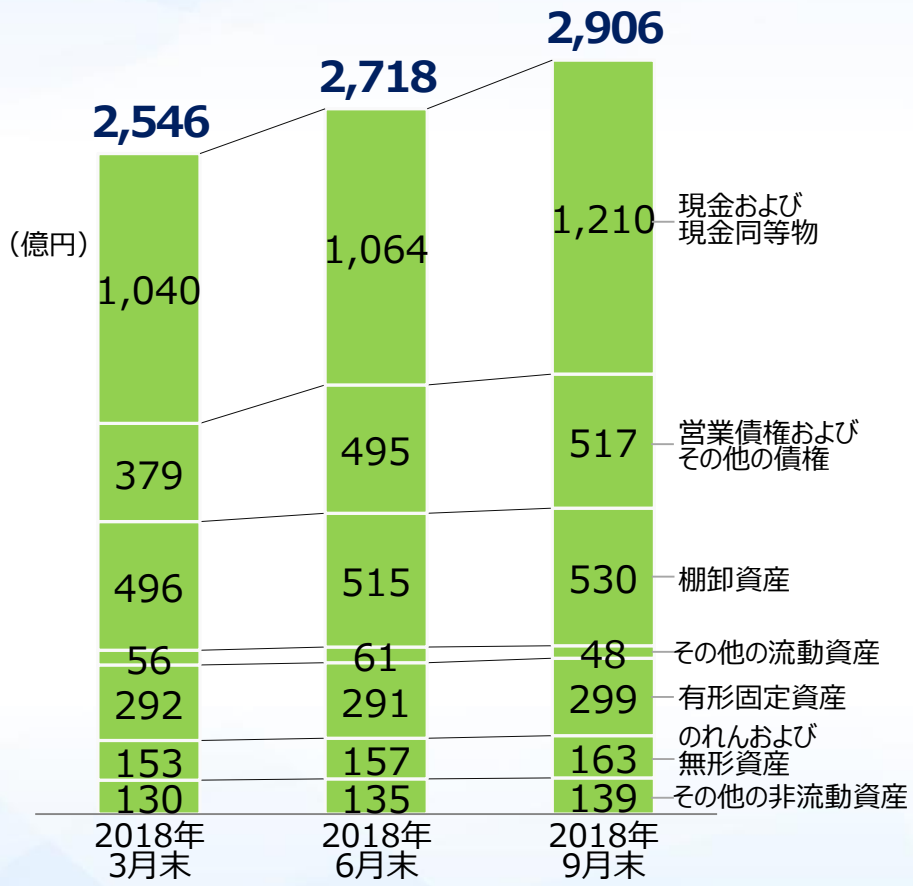


# 研究開発費/設備投資/減価償却費

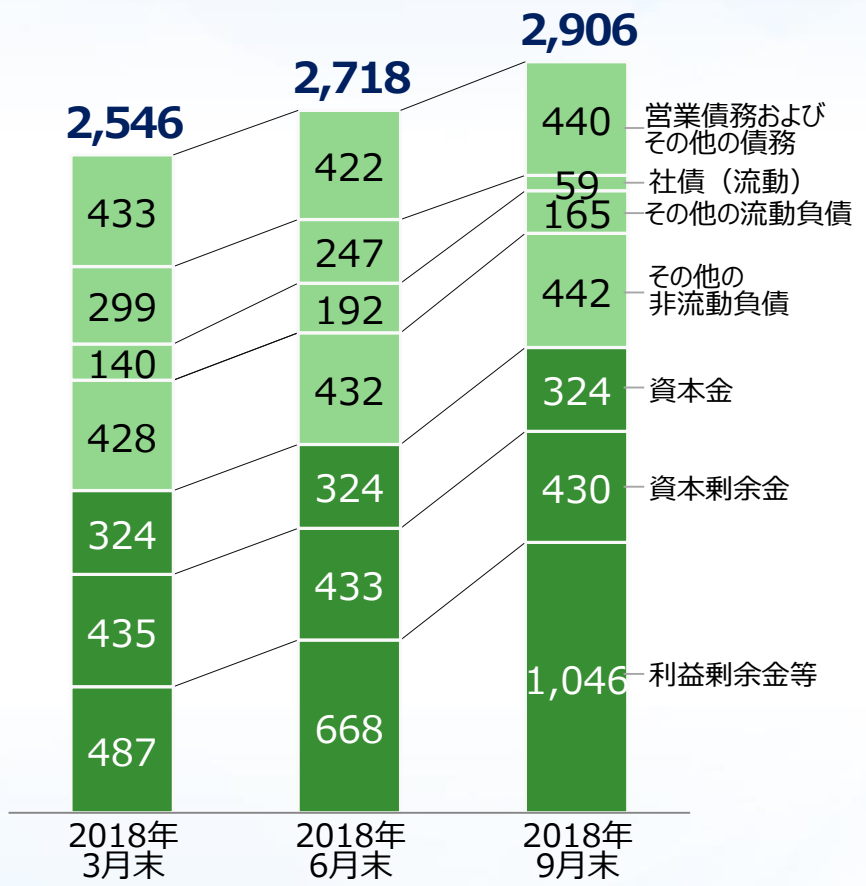


# 連結財政状態

親会社の所有者に 帰属する持分	1,246	1,425	1,800
親会社所有者 帰属持分比率	49.0%	52.4%	61.9%



【資産の部】



【負債・資本の部】



# アジェンダ

## ■ 2018年度第2四半期決算報告

常務執行役員 藤田 敦司

## ■ 2018年度 事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

# CY18年市場予想

	CY17	CY18推定	変化率
SoCテスト市場	約\$2.2B	約\$2.4B (7月時点予想: 約\$2.2B~2.3B)	前年比 約9%増
メモリ・テスト市場	約\$750M	約\$1.0B (7月時点予想: 約\$900M)	前年比 約33%増

- ✓ 18年のテスト市場は順調に推移
- ✓ SoCテスト市場は、広範な品種・顧客でテスト能力の強化が進み、市場を底上げ
- ✓ メモリ・テスト市場は、データセンター関連需要を背景に、DRAM向け中心に堅調に推移
- ✓ 全方位的に需要拡大する中、当社市場シェアは大きく伸長

# FY18業績予想

(億円)

	FY17実績	FY18予想	前年度比		7月時点
			増加額	増加率	FY18予想
受注高	2,478	2,550	72	2.9%	2,200
売上高*	2,072	2,650	578	27.9%	2,300
半導体・部品テストシステム事業	1,409	1,910	501	35.5%	1,600
メカトロニクス関連事業	359	420	61	17.0%	380
サービス他	305	320	15	5.0%	320
営業利益	245	530	285	2.2倍	345
営業利益率	11.8%	20.0%	8.2pts		15.0%
税引前利益	243	545	302	2.2倍	348
当期利益	181	460	279	2.5倍	278
当期利益率	8.7%	17.4%	8.7pts		12.1%
IFRS第15号適用に伴う 期首受注残の調整		▲30			▲30
受注残	828	698	▲130	▲15.7%	698
為替レート**	1米ドル	111円	110円	1円 円高	105円
	1ユーロ	129円	132円	3円 円安	135円
1株当たり配当額（年間）	32円	75円	43円	増配	—

\*売上高合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます。

\*\*FY18下期の前提レートは1米ドル: 110円、1ユーロ: 135円です。FY18上期の実績レートは1米ドル: 109円、1ユーロ: 130円です。

**ADVANTEST®**

# FY18重点施策

## ■ 事業成長に向けて

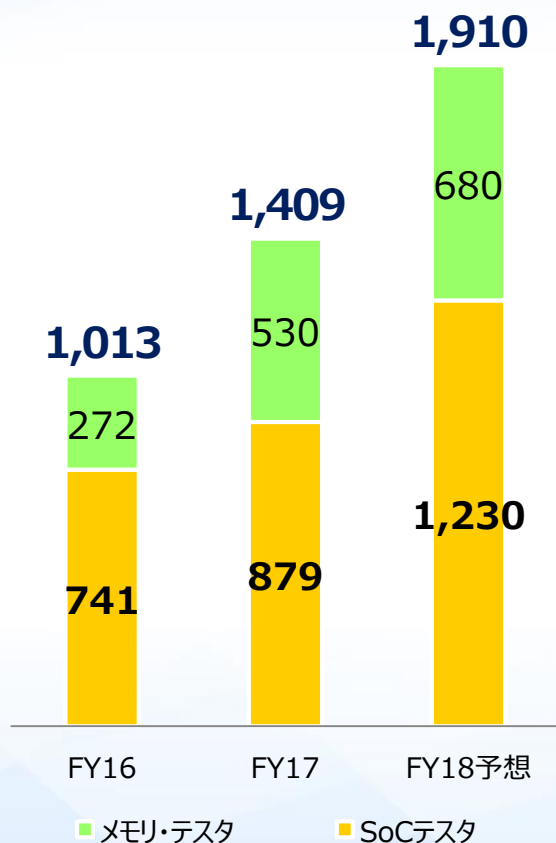
- ✓ 2018年6月に、半導体テストに関わる事業のグローバル統合を実施
- ✓ 新組織の下、AI、5G通信、ADAS等の有望テーマでの競争力を強化
- ✓ 中長期の企業価値創造の源となる「技術」と「人財」を強化

## ■ 投資等 FY18見通し（期初計画から変更なし）

- ✓ 研究開発費 : 350億円 (FY17実績 : 335億円)
- ✓ 設備投資 : 70億円 (FY17実績 : 54億円)
- ✓ 減価償却費 : 55億円 (FY17実績 : 50億円)

# FY18見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム  
売上高推移（億円）



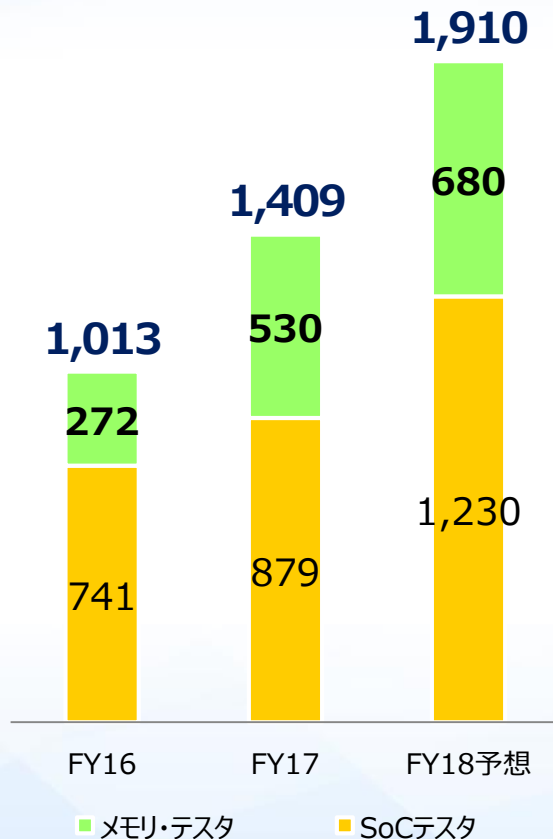
## ■ 半導体・部品テストシステム

### <SoCテスト>

- ✓ 端末高性能化を背景に、スマートフォン用プロセッサやセンサのテスト需要が活況
- ✓ 技術変化著しいディスプレイ向けは、引き合い旺盛な状況が持続

# FY18見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム  
売上高推移（億円）



## ■ 半導体・部品テストシステム

### <メモリ・テスト>

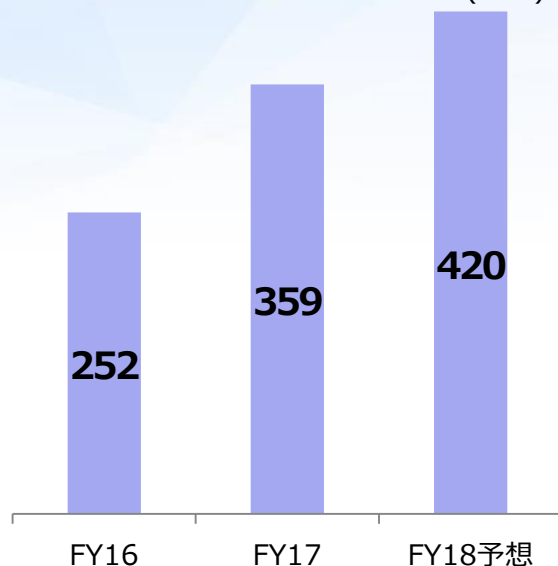
- ✓ DRAMは、後工程向け主体に、高水準なテスト需要が通年持続する見通し
- ✓ 不揮発性メモリ向けでは、下期のテスト需要は上期比減の見通しも、計画線の展開
- ✓ 19年も、より高速なI/F採用、3D化進展に伴う大容量化など、NANDフラッシュ高性能化がテスト需要を創出

**ADVANTEST®**



# FY18見通し（事業別）

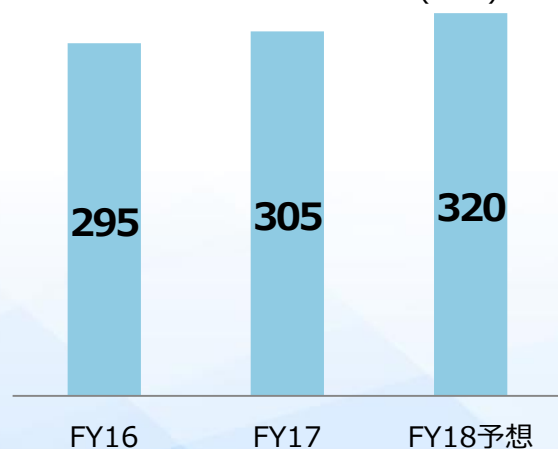
メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



## ■ メカトロニクス関連

- ✓ 上期はメモリ・テスト用のデバイス・インタフェース、テスト・ハンドラの需要が好調
- ✓ 下期もメモリ向けを中心に、上期並みの水準の需要を見込む

サービス他 売上高推移（億円）



## ■ サービス他

- ✓ 顧客の堅調なテスト稼働状況に沿って、フィールド・サービス売上の伸びを見込む

# サマリー

- ✓ 18年のテスト市場は順調に推移
- ✓ これまで培ってきた競争力ある製品ポートフォリオと顧客ベースの広さが、18年の市場シェア大幅伸長として結実
- ✓ テスタ市場の変化
  - ①半導体が搭載されるアプリケーションの拡大
  - ②半導体の信頼性に対する社会の要請と顧客の取り組み
- ✓ 「技術」と「人財」への投資強化で、事業と企業のサステナブルな成長を具体化

## ご注意

### ◆会計基準について

本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

### ◆将来の見通しに関する記述について

本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。

これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

### ◆本資料の利用について

本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。